

注3

大学番号：私004

[平成26年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

認可

日本医療大学

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人日本医療大学  
平成29年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名	学生支援グループ
職名・氏名	オカムラ セイイチロウ 岡村 誠一郎
電話番号	011-885-7711
（夜間）	011-885-7711
F A X	011-885-5757
e-mail	s_okamura@nihoniryo-c.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

保健医療学部

<看護学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	19
6. 留意事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	36

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人日本医療大学

## (2) 大学名

日本医療大学

## (3) 大学の位置

〒004-0839

北海道札幌市清田区真栄434番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツシマ ノリアキ) 対馬 徳昭 (平成5年4月)		
学長	(デンノ リュウイチ) 傳野 隆一 (平成26年4月)		
学部長	(デンノ リュウイチ) 傳野 隆一 (平成26年4月)		
学科長等	(モンマ マサコ) 門間 正子 (平成26年4月)		学科長 (看護学科)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)  
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4年	80人	-	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 ( - ) [ - ]	-	80人 ( - ) [ - ]	-	80人 ( - ) [ - ]	-	80人 ( - ) [ - ]	-	1.05倍	
志願者数	289人 ( - ) [ - ]	-	270人 ( - ) [ - ]	-	287人 ( - ) [ - ]	-	216人 ( - ) [ - ]	-		
受験者数	270人 ( - ) [ - ]	-	261人 ( - ) [ - ]	-	283人 ( - ) [ - ]	-	204人 ( - ) [ - ]	-		
合格者数	137人 ( - ) [ - ]	-	130人 ( - ) [ - ]	-	131人 ( - ) [ - ]	-	135人 ( - ) [ - ]	-		
B 入学者数	85人 ( - ) [ - ]	-	84人 ( - ) [ - ]	-	89人 ( - ) [ - ]	-	81人 ( - ) [ - ]	-		
入学定員超過率 B/A	1.06倍		1.05倍		1.11倍		1.01			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 85人	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( 0人 ) 84人	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( 2人 ) 91人	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( 1人 ) 82人	[ - ] ( - ) -	
2年次	/		[ - ] ( - ) 85人	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( 4人 ) 86人	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( 5人 ) 92人	[ - ] ( - ) -	
3年次	/		/		[ - ] ( - ) 80人	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( 12人 ) 88人	[ - ] ( - ) -	
4年次	/		/		/		[ - ] ( - ) 69人	[ - ] ( - ) -	
計	[ - ] ( - ) 85人	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( 0人 ) 169人	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( 6人 ) 257人	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( 18人 ) 331人	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	85人	3人	平成26年度	人	人	一身上の都合(1人)	3.52%
			平成27年度	1人	人		
			平成28年度	2人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	84人	3人	平成27年度	人	人	一身上の都合(3人)	3.57%
			平成28年度	3人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	89人	2人	平成28年度	2人	人	一身上の都合(2人)	2.24%
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	81人	0人	平成29年度	0人	0人	-	0.00%
合計	339人	8人					2.35%

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 

(記入項目例)・就学意欲の低下	・学力不足	・他の教育機関への入学・転学	・海外留学	
・就職	・学生個人の心身に関する事情	・家庭の事情	・除籍	・その他

## 2 授業科目の概要

<保健医療学部 看護学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						備考							
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手									
基礎教育科目	看護を知る	1前	1			6	5	6	5	3	4	6	7	2	3	2		教員変更のため AC教員審査済 (27) H28.03 松田ひとみ教授 就任辞退 (28) H28.03坂田三允教授 就任辞退 (28) H28.03原谷珠美准教授 退職 (28) H28.03高田麻依子助教 退職 (28) 担当教員の充実のため、教員追加 (28) 担当 瀧 断子 (教授) H28.06変更書提出予定 担当教員充実のため、教員追加 (28) 担当 草薙 美穂 (准教授) H27.12教員審査済 判定 可 担当教員充実のため、教員追加 (28) 担当 並川 聖子 (准教授) H28.03変更書提出済 担当教員充実のため、教員追加 (29) 担当 瀧 断子 (教授) H28.08 教員審査済 判定 可 担当教員充実のため、教員追加 (29) 担当 並川 聖子 (准教授) H28.06 教員審査済 判定 可 後任補充のため、教員追加 (29) 担当 吉野 淳一 (教授) H29.1教員審査済 判定 可 H29.03 小島悦子准教授 退職 (29) H29.03 萩田真美助教 退職 (29) 担当教員の充実のため、教員追加 (29) 担当 浅井 さおり (准教授) H29.03変更書提出済 後任補充のため、教員追加 (29) 担当 美濃 隼介 (助教) H29.03変更書提出済	
	生命科学	1前	1			1											兼1 大久保岩男教授の後任として、教員追加 (28) 担当 賀来亨 (教授) H27.06教員審査済 判定 可		
	心理学	1前	1																
	発達心理学	1後		1															
	倫理学	1前		1															
	生命倫理	1後		1															
	哲学	1後		1														兼1	
	論理学	1前	1																兼1
	宗教と思想	2前		1															
	人間関係論	1前		1															
	文化人類学	1後		1			1												
	社会学	1後		1															兼1
	音楽	2後		1															兼1
	法学	2前		1															兼1
																			H29.04 兼任講師を変更 (29) 良村貞子から坂井千之に変更
	教育学	2前		1															兼1
	北海道史	1前		1															兼1
																			H29.04 兼任講師を変更 (29) 栗本瑞恵から横島公司に変更
	ボランティア活動	2前		1															兼1
	生活科学	1後		2															兼1
	自然科学	1前		1															兼1
	環境科学	1後		1															兼1
																			H29.04 兼任講師を変更 (29) 森谷繁から藤井博匡に変更
	生活と運動	1前		1															兼1
	健康とスポーツ	1後		1															兼1
	統計学	1後		1				1											
	情報科学 I	1前		1				1											
情報科学 II	1前		1				1												
日本語表現	1前		1									1							
英語 I	1前		1															兼1	
英語 II	1後		1															兼1	
英語 III	2前		1															兼1	
英語 IV	3前		1															兼1	
中国語	2前		1								1								
韓国語	2前		1															兼1	

専 門 基 礎 教 育 科 目	総合医療論	1前	1		1					担当教員の変更 (28) 担当 島本 和明 (教授) H28.03変更書提出済  担当教員の変更 (29) 担当 島本 和明 (教授) H28.06教員審査済 判定 可
	形態機能学 I	1前	1		1					
	形態機能学 II	1後 1通	2		1					時間割調整のため配当年次変更 (28)
	形態機能学 III	1前	1		1					担当教員の変更 (28) 担当 島本 和明 (教授) H28.03変更書提出済  担当教員の変更 (29) 担当 島本 和明 (教授) H28.06教員審査済 判定 可
	臨床微生物学	1前	1							兼1
	病態病理学	2前	1		1					兼1 0 教授1名教員審査中 (27年3月提出済) のため兼任講師が担当 (27)  大久保岩男教授の後任として、教員追加 (28) 担当 賀来亨 (教授) H27.06教員審査済 判定 可
	臨床薬理学	3前	1							兼1
	臨床栄養学	3前	1							兼1
	治療法概論	2前	1							兼1
	疾病論 I	2前	1		1					兼1 0 教授1名教員審査中 (27年3月提出済) のため兼任講師が担当 (27)  大久保岩男教授の後任として、教員追加 (28) 担当 賀来亨 (教授) H27.06教員審査済 判定 可 担当教員の変更 (28) 担当 島本 和明 (教授) H28.03変更書提出済  担当教員の変更 (29) 担当 島本 和明 (教授) H28.06教員審査済 判定 可
	疾病論 II	2後	1		1					兼1
	疾病論 III	2後	1		1					兼1
	疾病論 IV	2後	1		1					兼1 0 教授1名教員審査中 (27年3月提出済) のため兼任講師が担当 (27)  大久保岩男教授の後任として、教員追加 (28) 担当 賀来亨 (教授) H27.06教員審査済 判定 可
	感染症概論	1後	1							兼1
	リハビリテーション概論	3前	1							兼1
	公衆衛生学	1後	1		1					
	保健医療統計	2前	1		1					
	健康教育論	3前	1		1					
	保健医療福祉行政論	2前	1		± 0		± 0			兼1 兼任補充可の判定により兼任講師が担当 (27)  H29.04兼任講師の変更 (29) 丸山正三から銭本隆行に変更
	社会福祉論	1後	2							兼1
	チーム医療	2後	1		± 1	± 0	1	± 0		兼1 教員変更のため A C教員審査済 (27)  担当教員充実のため担当科目追加 (28) 担当 伊藤 廣美 (講師) H27.12教員審査済 判定 可 H28.03原谷珠美准教授 退職 (28) H28.03高田麻依子助教 退職 (28)
	関係法規	3前	1							兼1
	家族論	2前		1		1				
コミュニケーション論	1後		1						兼1	
カウンセリング論	3前		1							
臨床心理	2後		1							
看護学概論	1前	2			1	± 2	1		1	教員変更のため A C教員審査済 (27)  担当教員の充実のため、教員追加 (28) 担当 並川 聖子 (准教授) H28.03 変更書提出済  担当教員充実のため、教員追加 (29) 担当 並川 聖子 (准教授) H28.06 教員審査済 判定 可 H29.03 小島悦子准教授 退職 (29)
援助的人間関係論	1後	1			1	1	± 0		1	担当教員充実のため、教員追加 (29) 担当 並川 聖子 (准教授) H28.06 教員審査済 判定 可 H29.03 小島悦子准教授 退職 (29) H29.03 萩田真美助教 退職 (29) 担当教員の充実のため、教員追加 (29) 担当 藤長 すが子 (講師) H29.01 教員審査済 判定 可



看護の基本技術論	1冊 1通	1	1	1	± 2 1	2 1	4 0	1	<p>教員変更のため 准教授1名教員審査中(27年3月提出済)(27)</p> <p>時間割調整のため配当年次変更(28) 担当教員の充実のため、教員追加(28) 担当 並川 聖子(准教授) H28.03 変更書提出済 H28.03高田麻依子助教 退職(28)</p> <p>担当教員充実のため、教員追加(29) 担当 並川 聖子(准教授) H28.06 教員審査済 判定 可 H29.03 小島悦子准教授 退職(29)</p>
生活援助技術Ⅰ	1前	1	1	1	± 2 1	1	1	1	<p>教員変更のため 准教授1名教員審査中(27年3月提出済)(27)</p> <p>担当教員の充実のため、教員追加(28) 担当 並川 聖子(准教授) H28.03 変更書提出済</p> <p>担当教員充実のため、教員追加(29) 担当 並川 聖子(准教授) H28.06 教員審査済 判定 可 H29.03 小島悦子准教授 退職(29) H29.03 萩田真美助教 退職(29)</p> <p>後任補充のため、教員追加(29) 担当 美濃 陽介(助教) H29.03変更書提出済</p>
生活援助技術Ⅱ	1後	1	1	1	± 2 1	1	1	1	<p>教員変更のため 准教授1名教員審査中(27年3月提出済)(27)</p> <p>担当教員の充実のため、教員追加(28) 担当 並川 聖子(准教授) H28.03 変更書提出済</p> <p>担当教員充実のため、教員追加(29) 担当 並川 聖子(准教授) H28.06 教員審査済 判定 可 H29.03 小島悦子准教授 退職(29) H29.03 萩田真美助教 退職(29)</p> <p>後任補充のため、教員追加(29) 担当 美濃 陽介(助教) H29.03変更書提出済</p>
生活援助技術Ⅲ	1後	1	1	1	± 2 1	1	1	1	<p>教員変更のため 准教授1名教員審査中(27年3月提出済)(27)</p> <p>担当教員の充実のため、教員追加(28) 担当 並川 聖子(准教授) H28.03 変更書提出済</p> <p>担当教員充実のため、教員追加(29) 担当 並川 聖子(准教授) H28.06 教員審査済 判定 可 H29.03 小島悦子准教授 退職(29) H29.03 萩田真美助教 退職(29)</p> <p>後任補充のため、教員追加(29) 担当 美濃 陽介(助教) H29.03変更書提出済</p>
診療過程の援助技術	2前	1	1	1	± 2 1	± 0	± 2 1	1	<p>教員変更のため 准教授1名教員審査中(27年3月提出済)(27)</p> <p>担当教員の充実のため、教員追加(28) 担当 並川 聖子(准教授) H28.03 変更書提出済 H28.03高田麻依子助教 退職(28)</p> <p>担当教員充実のため、教員追加(29) 担当 並川 聖子(准教授) H28.06 教員審査済 判定 可 H29.03 小島悦子准教授 退職(29) H29.03 萩田真美助教 退職(29)</p> <p>後任補充のため、教員追加(29) 担当 美濃 陽介(助教) H29.03変更書提出済</p>
フィジカルアセスメント	2前	1	1	1	± 2 1	1	4 0 1	1	<p>教員変更のため 准教授1名教員審査中(27年3月提出済)(27)</p> <p>担当教員の充実のため、教員追加(28) 担当 並川 聖子(准教授) H28.03 変更書提出済 H28.03高田麻依子助教 退職(28)</p> <p>担当教員充実のため、教員追加(29) 担当 並川 聖子(准教授) H28.06 教員審査済 判定 可 H29.03 小島悦子准教授 退職(29) H29.03 萩田真美助教 退職(29)</p> <p>後任補充のため、教員追加(29) 担当 美濃 陽介(助教) H29.03変更書提出済</p>
医療安全	3前	1	1	1	2 1	± 0 1	4 0	1	<p>教員変更のため A C教員審査済(27)</p> <p>担当教員充実のため担当科目追加(28) 担当 伊藤 廣美(講師) H27.12教員審査済 判定 可 H28.03原谷珠美准教授 退職(28) H28.03高田麻依子助教 退職(28)</p>

基礎看護学実習 I	2前	1		1	2 1	2 1	4 2 1	1	<p>教員変更のため AC教員審査済 (27)</p> <p>担当教員の充実のため、教員追加 (28)          担当 並川 聖子 (准教授)          H28.03 変更書提出済          H28.03高田麻依子助教 退職 (28)</p> <p>担当教員充実のため、教員追加 (29)          担当 並川 聖子 (准教授)          H28.06 教員審査済 判定 可          H29.03 小島悦子准教授 退職 (29)          H29.03 萩田真美助教 退職 (29)          後任補充のため、教員追加 (29)          担当 美濃 陽介 (助教)          H29.03変更書提出済</p>
基礎看護学実習 II	2後	2		1	2 1	2 1	4 2 1	1	<p>教員変更のため AC教員審査済 (27)</p> <p>担当教員の充実のため、教員追加 (28)          担当 並川 聖子 (准教授)          H28.03 変更書提出済          H28.03高田麻依子助教 退職 (28)</p> <p>担当教員充実のため、教員追加 (29)          担当 並川 聖子 (准教授)          H28.06 教員審査済 判定 可          H29.03 小島悦子准教授 退職 (29)          H29.03 萩田真美助教 退職 (29)          後任補充のため、教員追加 (29)          担当 美濃 陽介 (助教)          H29.03変更書提出済</p>
成人看護学概論	2前	2		1				1	
成人看護援助論 I	2後	1			2 1	1		1	教員変更のため AC教員審査済 (27)
成人看護援助論 II	3前	1		1	2 1	1		1	<p>教員変更のため AC教員審査済 (27)</p> <p>H28.03原谷珠美准教授退職 (28)          原谷珠美准教授の後任として、担当科目追加 (28)          担当 門間 正子 (教授)          H28.03変更書提出済</p> <p>原谷珠美准教授の後任として、担当科目追加 (29)          担当 門間 正子 (教授)          H28.06 教員審査済 判定可</p>
成人看護援助論 III	3前	1		1	2 1	1		1	<p>教員変更のため AC教員審査済 (27)</p> <p>H28.03原谷珠美准教授退職 (28)          原谷珠美准教授の後任として、担当科目追加 (28)          担当 門間 正子 (教授)          H28.03変更書提出済</p> <p>原谷珠美准教授の後任として、担当科目追加 (29)          担当 門間 正子 (教授)          H28.06 教員審査済 判定可</p>
成人看護学特論	2後	1			2 1	1		1	教員変更のため AC教員審査済 (27)
成人看護学実習 I	3後	4		1	3 2 1	1		1	<p>教員変更のため AC教員審査済 (27)</p> <p>H28.03原谷珠美准教授退職 (28)</p>
成人看護学実習 II	4前	2			3 2 1	1		1	<p>教員変更のため AC教員審査済 (27)</p> <p>H28.03原谷珠美准教授退職 (28)</p>
老年看護学概論	2前	2		4 2					<p>兼1 H28.03 松田ひとみ教授 就任辞退 (28)          松田ひとみ教授の後任として、教員追加 (28)          担当 瀧 断子 (教授)          H28.06変更書提出予定</p> <p>後任補充のため、教員追加 (28)          担当 瀧 断子 (教授)          H28.08 教員審査済 判定 可          担当教員の充実のため、教員追加 (29)          担当 浅井 さおり (准教授)          H29.03変更書提出済</p>
高齢者の健康障害	2後	1							兼2 H27.9 兼任講師の追加 (29) 2人の兼任講師で実施
老年看護援助論 I	2後	1		1	1		1	1	<p>H28.03 松田ひとみ教授 就任辞退 (28)          松田ひとみ教授の後任として、担当科目追加 (28)          担当 齊藤 リカ (助教)          H28.03変更書提出済</p> <p>松田ひとみ教授の後任として、教員追加 (28)          担当 瀧 断子 (教授)          H28.06変更書提出予定</p> <p>松田ひとみ教授の後任として、担当科目追加 (28)          担当 齊藤 リカ (助教)          H28.06 教員審査済 判定 可</p> <p>後任補充のため、教員追加 (28)          担当 瀧 断子 (教授)          H28.08 教員審査済 判定 可</p> <p>担当教員の充実のため、教員追加 (29)          担当 浅井 さおり (准教授)          H29.03変更書提出済</p>

老年看護援助論Ⅱ	3前	1		1	1				H28.03 松田ひとみ教授 就任辞退 (28) 松田ひとみ教授の後任として、担当科目追加 (28) 担当 斉藤 リカ (助教) H28.03変更書提出済 松田ひとみ教授の後任として、教員追加 (28) 担当 瀧 断子 (教授) H28.06変更書提出予定  松田ひとみ教授の後任として、担当科目追加 (28) 担当 斉藤 リカ (助教) H28.06 教員審査済 判定 可 後任補充のため、教員追加 (28) 担当 瀧 断子 (教授) H28.08 教員審査済 判定 可 担当教員の充実のため、教員追加 (29) 担当 浅井 さおり (准教授) H29.03変更書提出済
老年看護学実習Ⅰ	3後	2		1	1	1	1		H28.03 松田ひとみ教授 就任辞退 (28) 松田ひとみ教授の後任として、担当科目追加 (28) 担当 伊藤廣美 (講師) H27.12教員審査済 判定 可 担当教員の充実のため、教員追加 (28) 担当 瀧 断子 (教授) H28.06変更書提出予定  担当教員の充実のため、教員追加 (29) 担当 斉藤 リカ (助教) H28.06 教員審査済 判定 可 後任補充のため、教員追加 (28) 担当 瀧 断子 (教授) H28.08 教員審査済 判定 可 担当教員の充実のため、教員追加 (29) 担当 浅井 さおり (准教授) H29.03変更書提出済
老年看護学実習Ⅱ	4前	2		1	1	1	1		H28.03 松田ひとみ教授 就任辞退 (28) 松田ひとみ教授の後任として、担当科目追加 (28) 担当 伊藤廣美 (講師) H27.12教員審査済 判定 可 担当教員の充実のため、教員追加 (28) 担当 瀧 断子 (教授) H28.06変更書提出予定  後任補充のため、教員追加 (29) 担当 瀧 断子 (教授) H28.08 教員審査済 判定 可 担当教員の充実のため、教員追加 (29) 担当 浅井 さおり (准教授) H29.03変更書提出済
小児看護学概論	3前	2		1			1		助手の追加 (29)
小児の健康障害	3前	1		1					大久保岩男教授の後任として、教員追加 (28) 担当 賀来亨 (教授) H27.06教員審査済 判定 可
小児看護援助論	3後	1			1				伊藤良子准教授の後任として、教員追加 (28) 担当 草薙 美穂 (准教授) H27.12教員審査済 判定 可  助手の追加 (29)
小児看護学実習	4前	2		1	1				伊藤良子准教授の後任として、教員追加 (28) 担当 草薙 美穂 (准教授) H27.12教員審査済 判定 可  助手の追加 (29)
母性看護学概論	2後	2		1					兼1
女性の健康障害	3前	1							
母性看護援助論	3後	1					2		
母性看護学実習	4前	2		1			2		
精神看護学概論	2後	2		± 0	1				兼1 H28.03坂田三允教授 就任辞退 (28) 後任の専任教員未定のため、28年度は兼任講師が担当する。  後任補充のため、教員追加 (29) 担当 吉野 淳一 (教授) H29.1教員審査済 判定 可 (就任年月が平成30年4月のため、29年度までは兼任講師が担当する。)
精神の健康障害	2後	1		± 0	1				兼1
精神看護援助論	3前	1		± 0	1		± 2		H28.03坂田三允教授 就任辞退 (28) 坂田三允教授の後任として、担当科目追加 (28) 担当 滋野 和恵 (講師) H27.12教員審査済 判定 可  後任補充のため、教員追加 (29) 担当 吉野 淳一 (教授) H29.1教員審査済 判定 可
精神看護学実習	3後	2		± 0	1		2	1	H28.03坂田三允教授 就任辞退 (28)  後任補充のため、教員追加 (29) 担当 吉野 淳一 (教授) H29.1教員審査済 判定 可

在宅看護概論	2後	2	± 0	± 0	1	兼2	専任教員補充中であるが、遅延のため27年度は兼任講師が担当 (27) 後任の専任教員未定のため、28年度は兼任講師が担当する。(28) 後任の専任教員未定のため、29年度は兼任講師が担当する。(29)
在宅看護援助論 I	3前	1	± 0	1	1		
在宅看護援助論 II	3後	1	± 0	1	1		
在宅看護論実習	4前	2	± 0	1	1		
統合実習	4前	2	2 3	4 3 4	4 6	± 2	教員変更のため A C教員審査済 (27) H28. 03原谷珠美准教授 退職 (28) H28. 03高田麻依子助教 退職 (28) 担当教員の充実のため、教員追加 (28) 担当 草薙 美穂 (准教授) H27. 12教員審査済 判定 可 担当教員の充実のため、教員追加 (28) 担当 並川 聖子 (准教授) H28. 03変更書提出済 担当教員の充実のため、担当科目追加 (28) 担当 福島 眞里 (講師) H28. 03変更書提出済 担当教員の充実のため、担当科目追加 (28) 担当 岡田 尚美 (講師) H28. 03変更書提出済 担当教員の充実のため、担当科目追加 (28) 担当 斉藤 リカ (助教) H28. 03変更書提出済 担当教員の充実のため、教員追加 (29) 担当 並川 聖子 (准教授) H28. 06 教員審査済 判定 可 担当教員の充実のため、担当科目追加 (29) 担当 福島 眞里 (講師) H28. 06 教員審査済 判定 可 担当教員の充実のため、担当科目追加 (29) 担当 岡田 尚美 (講師) H28. 06 教員審査済 判定 可 担当教員の充実のため、担当科目追加 (29) 担当 斉藤 リカ (助教) H28. 06 教員審査済 判定 可 H29. 03 小島悦子准教授 退職 (29) H29. 03 秋田真実助教 退職 (29) 担当教員の充実のため、教員追加 (29) 担当 浅井 さおり (准教授) H29. 03変更書提出済 後任補充のため、教員追加 (29) 担当 美濃 陽介 (助教) H29. 03変更書提出済
看護研究	3前	1	3 2 3 - 4 5	1 3 4	5 6 7	2 ± 2	教員変更のため A C教員審査済 (27) H28. 03坂田三允教授 就任辞退 (28) 担当教員の充実のため担当科目追加 (28) 担当 門間 正子 (教授) H28. 03変更書提出済 担当教員の充実のため担当科目追加 (28) 担当 小山 満子 (教授) H28. 03変更書提出済 担当教員の充実のため教員追加 (28) 担当 草薙 美穂 (准教授) H27. 12教員審査済 判定 可 担当教員の充実のため教員追加 (28) 担当 並川 聖子 (准教授) H28. 03変更書提出済 担当教員の充実のため担当科目追加 (28) 担当 高橋 郁美 (講師) H28. 03変更書提出済 担当教員の充実のため担当科目追加 (29) 担当 門間 正子 (教授) H28. 06 教員審査済 判定 可 担当教員の充実のため担当科目追加 (29) 担当 小山 満子 (教授) H28. 06 教員審査済 判定 可 担当教員の充実のため教員追加 (29) 担当 並川 聖子 (准教授) H28. 06 教員審査済 判定 可 担当教員の充実のため担当科目追加 (29) 担当 高橋 郁美 (講師) H28. 06 教員審査済 判定 可 後任補充のため、教員追加 (29) 担当 吉野 淳一 (教授) H29. 1教員審査済 判定 可 H29. 03 小島悦子准教授 退職 (29) 担当教員の充実のため、教員追加 (29) 担当 浅井 さおり (准教授) H29. 03変更書提出済 後任補充のため、教員追加 (29) 担当 美濃 陽介 (助教) H29. 03変更書提出済

看護研究演習	4通	2		9 7	8 8	9 8	6 4	5 5	6 6	7 7	2 2	3 3	1 1	2 2	<p>教員変更のため 教授1名教員審査中(27年3月提出済)(27)</p> <p>H27.06 賀来亨 教員審査 判定 不可(28)</p> <p>H28.03 松田ひとみ教授 就任辞退(28)</p> <p>H28.03 坂田三允教授 就任辞退(28)</p> <p>H28.03 原谷珠美准教授 退職(28)</p> <p>H28.03 高田麻依子助教 退職(28)</p> <p>担当教員の充実のため教員追加 担当 瀧 断子(教授)</p> <p>H28.06 変更書提出予定</p> <p>担当教員の充実のため教員追加(28) 担当 草薙 美穂(准教授)</p> <p>H27.12 教員審査済 判定 可</p> <p>担当教員の充実のため教員追加(28) 担当 並川 聖子(准教授)</p> <p>H28.03 変更書提出済</p> <p>後任補充のため、教員追加(29) 担当 瀧 断子(教授)</p> <p>H28.08 教員審査済 判定 可</p> <p>担当教員充実のため、教員追加(29) 担当 並川 聖子(准教授)</p> <p>H28.06 教員審査済 判定 可</p> <p>後任補充のため、教員追加(29) 担当 吉野 淳一(教授)</p> <p>H29.1 教員審査済 判定 可</p> <p>H29.03 小島悦子准教授 退職(29)</p> <p>担当教員の充実のため、教員追加(29) 担当 浅井 さおり(准教授)</p> <p>H29.03 変更書提出済</p> <p>後任補充のため、教員追加(29) 担当 美濃 陽介(助教)</p> <p>H29.03 変更書提出済</p>
看護管理	3前	1					2	1	1	0	1	4	0		<p>教員変更のため AC教員審査済(27)</p> <p>担当教員の充実のため担当科目追加(28) 担当 伊藤 廣美(講師)</p> <p>H27.12 教員審査済 判定 可</p> <p>H28.03 原谷珠美准教授 退職(28)</p> <p>H28.03 高田麻依子助教 退職(28)</p>
感染管理	3前	1						1							<p>兼1</p>
看護教育	4後	1		1											<p>兼1</p>
災害看護	4後	1													<p>H29.04 兼任講師を変更(29)</p> <p>荻野薫子から原谷珠美に変更</p>
医療情報	4後	1								1					<p>兼1</p>
現代の看護と課題	4後	1													<p>教員変更のため AC教員審査済(27)</p> <p>H28.03 松田ひとみ教授 就任辞退(28)</p> <p>H28.03 坂田三允教授 就任辞退(28)</p> <p>H28.03 原谷珠美准教授 退職(28)</p> <p>H28.03 高田麻依子助教 退職(28)</p> <p>担当教員の充実のため、教員追加 担当 瀧 断子(教授)</p> <p>H28.06 変更書提出予定</p> <p>担当教員の充実のため、教員追加(28) 担当 草薙 美穂(准教授)</p> <p>H27.12 教員審査済 判定 可</p> <p>担当教員の充実のため、教員追加(28) 担当 並川 聖子(准教授)</p> <p>H28.03 変更書提出済</p> <p>後任補充のため、教員追加(29) 担当 瀧 断子(教授)</p> <p>H28.08 教員審査済 判定 可</p> <p>担当教員充実のため、教員追加(29) 担当 並川 聖子(准教授)</p> <p>H28.06 教員審査済 判定 可</p> <p>後任補充のため、教員追加(29) 担当 吉野 淳一(教授)</p> <p>H29.1 教員審査済 判定 可</p> <p>H29.03 小島悦子准教授 退職(29)</p> <p>H29.03 萩田真美助教 退職(29)</p> <p>担当教員の充実のため、教員追加(29) 担当 浅井 さおり(准教授)</p> <p>H29.03 変更書提出済</p> <p>後任補充のため、教員追加(29) 担当 美濃 陽介(助教)</p> <p>H29.03 変更書提出済</p>
臨床看護技術演習	4後	1		6 5	5 6	6 6	5 3	4 4	6 6	7 7	2 2	3 3	2 2		

看護ゼミナール I	1通	1	6 5 7 5 6	5 3 4	5 6 7	2 3 2	<p>教員変更のため 教授1名教員審査中 (27年3月提出済) (27)</p> <p>H27.06 賀来亨 教員審査 判定 不可 (28)  H28.03 松田ひとみ教授 就任辞退 (28)  H28.03 坂田三允教授 就任辞退 (28)  H28.03 原谷珠美准教授 退職 (28)  H28.03 高田麻依子助教 退職 (28)  担当教員の充実のため、教員追加  担当 瀧 断子 (教授)  H28.06 変更書提出予定  H28.03 原谷珠美准教授 退職 (28)  担当教員の充実のため、教員追加 (28)  担当 草薨 美穂 (准教授)  H27.12 教員審査済 判定 可  担当教員の充実のため、教員追加 (28)  担当 並川 聖子 (准教授)  H28.03 変更書提出済</p> <p>後任補充のため、教員追加 (29)  担当 瀧 断子 (教授)  H28.08 教員審査済 判定 可  担当教員充実のため、教員追加 (29)  担当 並川 聖子 (准教授)  H28.06 教員審査済 判定 可  後任補充のため、教員追加 (29)  担当 吉野 淳一 (教授)  H29.1 教員審査済 判定 可  H29.03 小島悦子准教授 退職 (29)  H29.03 萩田真美助教 退職 (29)  担当教員の充実のため、教員追加 (29)  担当 浅井 さおり (准教授)  H29.03 変更書提出済  後任補充のため、教員追加 (29)  担当 美濃 陽介 (助教)  H29.03 変更書提出済</p>
看護ゼミナール II	2通	1	6 5 7 5 6	5 3 4	5 6 7	2 3 2	<p>教員変更のため 教授1名教員審査中 (27年3月提出済) (27)</p> <p>H27.06 賀来亨 教員審査 判定 不可 (28)  H28.03 松田ひとみ教授 就任辞退 (28)  H28.03 坂田三允教授 就任辞退 (28)  H28.03 原谷珠美准教授 退職 (28)  H28.03 高田麻依子助教 退職 (28)  担当教員の充実のため、教員追加  担当 瀧 断子 (教授)  H28.06 変更書提出予定  H28.03 原谷珠美准教授 退職 (28)  担当教員の充実のため、教員追加 (28)  担当 草薨 美穂 (准教授)  H27.12 教員審査済 判定 可  担当教員の充実のため、教員追加 (28)  担当 並川 聖子 (准教授)  H28.03 変更書提出済</p> <p>後任補充のため、教員追加 (29)  担当 瀧 断子 (教授)  H28.08 教員審査済 判定 可  担当教員充実のため、教員追加 (29)  担当 並川 聖子 (准教授)  H28.06 教員審査済 判定 可  後任補充のため、教員追加 (29)  担当 吉野 淳一 (教授)  H29.1 教員審査済 判定 可  H29.03 小島悦子准教授 退職 (29)  H29.03 萩田真美助教 退職 (29)  担当教員の充実のため、教員追加 (29)  担当 浅井 さおり (准教授)  H29.03 変更書提出済  後任補充のため、教員追加 (29)  担当 美濃 陽介 (助教)  H29.03 変更書提出済</p>

看護ゼミナールⅢ	3通	1		6 5 7 5 6	5 3 4	5 6 7	2 3 2	教員変更のため 教授1名教員審査中(27年3月提出済)(27) H27.06 賀来亨 教員審査 判定 不可(28) H28.03 松田ひとみ教授 就任辞退(28) H28.03 坂田三允教授 就任辞退(28) H28.03原谷珠美准教授 退職(28) H28.03高田麻依子助教 退職(28) 担当教員の充実のため、教員追加 担当 瀧 断子(教授) H28.06変更書提出予定 H28.03原谷珠美准教授 退職(28) 担当教員の充実のため、教員追加(28) 担当 草薙 美穂(准教授) H27.12教員審査済 判定 可 担当教員の充実のため、教員追加(28) 担当 並川 聖子(准教授) H28.03変更書提出済 後任補充のため、教員追加(29) 担当 瀧 断子(教授) H28.08 教員審査済 判定 可 担当教員充実のため、教員追加(29) 担当 並川 聖子(准教授) H28.06 教員審査済 判定 可 後任補充のため、教員追加(29) 担当 吉野 淳一(教授) H29.1教員審査済 判定 可 H29.03 小島悦子准教授 退職(29) H29.03 萩田真美助教 退職(29) 担当教員の充実のため、教員追加(29) 担当 浅井 さおり(准教授) H29.03変更書提出済 後任補充のため、教員追加(29) 担当 美濃 陽介(助教) H29.03変更書提出済
看護ゼミナールⅣ	4通	1		6 5 7 5 6	5 3 4	5 6 7	2 3 2	教員変更のため 教授1名教員審査中(27年3月提出済)(27) H27.06 賀来亨 教員審査 判定 不可(28) H28.03 松田ひとみ教授 就任辞退(28) H28.03 坂田三允教授 就任辞退(28) H28.03原谷珠美准教授 退職(28) H28.03高田麻依子助教 退職(28) 担当教員の充実のため、教員追加 担当 瀧 断子(教授) H28.06変更書提出予定 H28.03原谷珠美准教授 退職(28) 担当教員の充実のため、教員追加(28) 担当 草薙 美穂(准教授) H27.12教員審査済 判定 可 担当教員の充実のため、教員追加(28) 担当 並川 聖子(准教授) H28.03変更書提出済 後任補充のため、教員追加(29) 担当 瀧 断子(教授) H28.08 教員審査済 判定 可 担当教員充実のため、教員追加(29) 担当 並川 聖子(准教授) H28.06 教員審査済 判定 可 後任補充のため、教員追加(29) 担当 吉野 淳一(教授) H29.1教員審査済 判定 可 H29.03 小島悦子准教授 退職(29) H29.03 萩田真美助教 退職(29) 担当教員の充実のため、教員追加(29) 担当 浅井 さおり(准教授) H29.03変更書提出済 後任補充のため、教員追加(29) 担当 美濃 陽介(助教) H29.03変更書提出済

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。  
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)  
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
81科目	32科目	0科目	113科目	81科目	32科目	0科目	113科目	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし
----

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：なし (借用地)運動場 20年、13,710㎡ 駐車場、1年更新、3,058㎡ (27)平成27年4月リハビリテーション学科開設に伴い面積の変更あり (28)平成28年4月診療放射線学科開設に伴い面積の変更あり		
	校舎敷地	29,831㎡ 8,886㎡ 0㎡	0㎡ 20,945㎡	0㎡	29,831㎡ 20,945㎡			
	運動場用地	13,710㎡	0㎡	0㎡	13,710㎡			
	小 計	43,541㎡ 22,596㎡ 13,710㎡	0㎡ 20,945㎡	0㎡	43,541㎡ 34,655㎡			
	そ の 他	3,058㎡	0㎡	0㎡	3,058㎡			
	合 計	46,599㎡ 25,654㎡ 16,768㎡	20,945㎡	0㎡	46,599㎡ 37,713㎡			
(2) 校 舎	専 用	16,060.03㎡ 11,175.86㎡ 5,167.31㎡	0㎡ 3,179.52㎡	0㎡ 2,463.58㎡	16,060.03㎡ 16,818.96㎡ 10,810.41㎡	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：1,480㎡ (27)平成27年4月リハビリテーション学科開設に伴い面積の変更あり (28)平成28年4月診療放射線学科開設に伴い面積の変更あり(校舎の総面積の減少については、体育館及び講堂の面積を除いたためであり、建築等設置計画に変更なし)		
	(5,623.13㎡) (4,273.46㎡) (3,055.87㎡)	(8,630.68㎡) (8,386.92㎡) (4,658.96㎡)	(1,806.22㎡) (4,158.58㎡) (3,095.58㎡)	(16,060.03㎡) (16,818.93㎡) (10,810.41㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	情報処理室と共用 (補助職員0人)		
	11室	8室	2室	1室 (補助職員0人)	(補助職員0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	保健医療学部 看護学科			25 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	(27)図書、学術雑誌、電子ジャーナル、視聴覚資料に変更あり (28)図書合計の数値の際は、計算ミスによるもので、今年度の数値が適正値 (28)電子ジャーナルについては、冊子付帯・オープンジャーナルも含む。数値変更は購読タイトル変更による。 (29)学術雑誌に変更あり(総冊数から種に変更したため)
	保健医療学部 看護学科	15,637[342] 15,253[342] 23,681[336] 20,052[333] 14,309[333]	63[9] 485[33] 522[30] 331[11]	6[3] 6[6]	469 429 381 357	6,434	96	
		(15,357[339]) (14,949[339]) (23,281[336]) (20,088[335]) (12,309[333])	62[9] (422[24]) (422[19]) (316[11]) (316[10])	(6[3]) (6[6]) (5[5]) (6[6])	(449) (433) (397) (381) (357)			
		15,637[342] 15,253[342] 23,681[336] 20,052[333] 14,309[333]	63[9] 485[33] 522[30] 331[11]	6[3] 6[6]	469 429 381 357			
計	(15,357[339]) (14,949[339]) (23,281[336]) (20,088[335]) (12,309[333])	62[9] (422[24]) (422[19]) (316[11]) (316[10])	(6[3]) (6[6]) (5[5]) (6[6])	(449) (433) (397) (381) (357)	(6,450)	(96)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		(28)診療放射線学科と共用	
	328㎡		80		29,160冊 28,800冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				(28)診療放射線学科と共用	
	660.00㎡		該 当 な し					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	46,395千円	3,000千円	3,000千円
		共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	128,767千円	2,000千円	2,000千円

維持方法 の概要	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	千円	千円
	学生納付金以外の維持方法の概要	寄付金、補助金等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	日本医療大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	理学と作業の合算
	年	人	年次人	人		倍			
保健医療学部 看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.05	平成26年度	北海道札幌市清田区真栄 434番地1	
リハビリテーション学科	4	80	-	320	学士 (リハビリテーション学)	0.69	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
理学療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.94	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.44	平成27年度	北海道恵庭市恵み野西6 丁目17番3号	
診療放射線学科	4	50	-	200	学士 (診療放射線学)	1.05	平成28年度	北海道札幌市清田区真栄 434番地1	
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	該当なし

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学長)	デンノ リュウイチ 傳野 隆一	平成26年4月	総合医療論 形態機能学Ⅰ 形態機能学Ⅱ 形態機能学Ⅲ	専	教授(学長)	デンノ リュウイチ 傳野 隆一	平成26年4月	形態機能学Ⅰ 形態機能学Ⅱ	(28) 平成28年7月 総合医療論、形態機能学Ⅲの科目担当者を島本和明に変更予定(科目担当数の軽減のため)  (29) 平成28年7月 総合医療論、形態機能学Ⅲの科目担当者を島本和明に変更済
					専	教授	シマト カズキ 島本 和明	平成28年7月	総合医療論 形態機能学Ⅲ	(28) 平成28年3月 島本和明変更書提出済 傳野の科目担当数軽減のため、担当者を変更予定 ・総合医療論 可 ・形態機能学Ⅲ  (29) 平成28年6月 島本和明 A C 教員審査済 ・総合医療論 可 ・形態機能学Ⅲ 可
専	教授	ムラマツ ツカサ 村松 幸	平成26年4月	統計学 情報科学Ⅰ 情報科学Ⅱ 公衆衛生学 保健医療統計 看護研究演習						変更なし
専	教授	材木 久保 岩男 大久保 岩男	平成27年4月	生命科学 病態病理学 疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ 疾病論Ⅳ 小児の健康障害 看護研究演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	教授	カ 賀来 亨 賀来 亨	平成27年7月	生命科学 病態病理学 疾病論Ⅱ 疾病論Ⅳ 小児の健康障害	平成27年4月 大久保岩男教授就任辞退(一身上の都合のため)  平成27年3月 賀来亨変更書提出済 ※平成27年7月までに開講する科目については、賀来亨が兼任講師として担当する。  (28) 平成27年6月 賀来亨教授 A C 教員審査済 ・生命科学 可 ・病態病理学 可 ・疾病論Ⅰ 可 ・疾病論Ⅱ 可 ・疾病論Ⅳ 可 ・小児の健康障害 可  平成28年7月 疾病論Ⅰの科目担当者を変更予定(科目担当数の軽減のため)  (29) 平成28年7月 疾病論Ⅰの科目担当者を島本和明に変更済
					専	教授	シマト カズキ 島本 和明	平成28年7月	疾病論Ⅰ	(28) 平成28年3月 島本和明変更書提出済 賀来亨の科目担当数軽減のため、担当者を変更予定 ・疾病論Ⅰ  (29) 平成28年6月 島本和明 A C 教員審査済 ・疾病論Ⅰ 可
					専				看護研究演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	(28) 平成28年4月 後任未定  (29) 平成29年4月 後任未定 (賀来亨の後任としての補充はしていないが、教員の新規採用等で補充している)
兼任	講師	材木 久保 岩男 大久保 岩男	平成26年4月	生命科学						変更なし

専	教授	カガミ スミ 高波 澄子	平成26年4月	看護を知る 保健医療福祉行政論 在宅看護概論 在宅看護援助論 I 在宅看護援助論 II 在宅看護論実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナール I 看護ゼミナール II 看護ゼミナール III 看護ゼミナール IV	専	講師	カガミ ナミ 岡田 尚美	平成26年9月	看護を知る 在宅看護援助論 I 在宅看護援助論 II 在宅看護論実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナール I 看護ゼミナール II 看護ゼミナール III 看護ゼミナール IV 統合実習	平成26年3月 高波澄子教授就任辞退（一身上の都合のため） 平成26年7月 岡田尚美 A C 教員審査済 (28) 平成28年3月 岡田尚美変更書提出済 担当科目追加のため ・統合実習 (28) 平成29年6月 岡田尚美 A C 教員審査済 ・統合実習 可
					兼任	講師	マルヤマ ショウジ 丸山 正三	平成27年4月	保健医療福祉行政論	平成27年4月 保健医療福祉行政論については、兼任補充可であったため、左記の兼任講師が担当する。
					兼任	講師	ゼニトモ カネキ 銭本 隆行	平成29年4月	保健医療福祉行政論	(29) 平成29年4月 保健医療福祉行政論の兼任講師を丸山正三から銭本隆行に変更した。
					兼任	講師	ウエダ イズミ 上田 泉	平成27年4月	在宅看護概論	平成27年4月 在宅看護概論については、専任補充であるが遅延しているため、27年度は左記の兼任講師が担当する。27年度中に変更書提出予定 (28) 平成28年4月 専任教員の後任未定のため、左記の兼任講師が担当する。 (29) 平成29年4月 専任教員の後任未定のため、左記の兼任講師が担当する
					兼任	講師	ササキ マサヒコ 佐々木 雅彦	平成27年4月	在宅看護概論	(29) 平成29年4月 専任教員の後任未定のため、左記の兼任講師が担当する (29.5報告書から追加分)
専	教授	カガミ ココ 岡田 洋子	平成28年4月	看護を知る 小児看護学概論 小児看護学実習 看護研究 看護研究演習 看護教育 臨床看護技術演習 看護ゼミナール I 看護ゼミナール II 看護ゼミナール III 看護ゼミナール IV					変更なし	
専	教授	マツタ ヒトミ 松田 ひとみ	平成28年4月	看護を知る 老年看護学概論 老年看護援助論 I 老年看護援助論 II 老年看護学実習 I 老年看護学実習 II 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナール I 看護ゼミナール II 看護ゼミナール III 看護ゼミナール IV	専任	講師	イトウ ヒロミ 伊藤 廣美	平成28年4月	老年看護学実習 I 老年看護学実習 II	(28) 平成28年3月 松田ひとみ教授就任辞退（一身上の都合のため） (28) 平成27年12月 伊藤廣美 A C 教員審査済 ・老年看護学実習 I ・老年看護学実習 II
					兼任	講師	カガキ エミコ 坂倉 恵美子	平成28年4月	老年看護学概論	(28) 平成28年4月 専任教員審査中のため、左記の兼任講師が担当する。
					専	教授	サカノ タコ 瀧 断子	平成28年9月	看護を知る 老年看護学概論 老年看護援助論 I 老年看護援助論 II 老年看護学実習 I 老年看護学実習 II 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナール I 看護ゼミナール II 看護ゼミナール III 看護ゼミナール IV	後任として、教員追加 (28) 担当 瀧断子(教授) H28.06変更書提出予定 (29) 平成28年8月 瀧断子 A C 教員審査済 ・看護を知る 可 ・老年看護学概論 可 ・老年看護援助論 I 可 ・老年看護援助論 II 可 ・老年看護学実習 I 可 ・老年看護学実習 II 可 ・看護研究演習 可 ・臨床看護技術演習 可 ・看護ゼミナール I 可 ・看護ゼミナール II 可 ・看護ゼミナール III 可 ・看護ゼミナール IV 可

兼任	講師	マツダ ヒトミ 松田 ひとみ	平成27年4月	老年看護学概論 老年看護援助論Ⅰ	兼任	講師	カカハ エミコ 坂倉 恵美子	平成28年4月	老年看護学概論	平成27年4月 松田ひとみ辞退（本務校の都合のため） 平成27年度のみ左記の兼任講師が担当する。
					兼任	講師	カハタ タツコ 滝 断子	平成28年4月	老年看護援助論Ⅰ	平成27年4月 松田ひとみ辞退（本務校の都合のため） 平成27年度のみ左記の兼任講師が担当する。
専	教授	ハヤシ ミエコ 林 美枝子	平成26年4月	文化人類学 家族論 看護研究演習						変更なし
専	教授	コヤマ ミチコ 小山 満子	平成26年4月	看護を知る 母性看護学概論 母性看護学実習 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	教授	コヤマ ミチコ 小山 満子	平成26年4月	看護を知る 母性看護学概論 母性看護学実習 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ 看護研究	(28) 平成28年3月 小山満子変更書提出済 担当科目追加のため ・看護研究  (29) 平成29年6月 小山満子 A C 教員審査済 ・看護研究 可
専	教授	モリマ マサコ 門間 正子	平成26年4月	看護を知る 健康教育論 成人看護学概論 成人看護学実習Ⅰ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	教授	モリマ マサコ 門間 正子	平成26年4月	看護を知る 健康教育論 成人看護学概論 成人看護学実習Ⅰ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 看護研究	(28) 平成28年3月 門間正子変更書提出済 (平成28年3月に原谷珠美が退職したため、成人看護援助Ⅱ、成人看護援助Ⅲの2科目については後任として申請、看護研究については、教員数の充実のため申請)  (29) 平成29年6月 門間正子 A C 教員審査済 ・成人看護援助論Ⅱ 可 ・成人看護援助論Ⅲ 可 ・看護研究 可
専	教授	カハタ ミヨシ 坂田 三允	平成28年4月	看護を知る 精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	講師	シゲノ カズエ 滋野 和恵	平成28年4月	精神看護援助論	(28) 平成27年10月 坂田三允教授就任辞退（一身上の都合のため）  (28) 平成27年12月 滋野和恵 A C 教員審査済 ・精神看護援助論 可
					兼任	講師	コハヤシ ヨシコ 小林 美子	平成28年9月	精神看護学概論	(28) 平成28年4月 専任教員の後任未定のため、左記の兼任講師が担当する。  (29) 平成29年4月 後任の専任教員の就任年月が平成30年4月のため、29年度まで左記の兼任講師が担当する。
					専	教授	ヨシノ ジュンイチ 吉野 淳一	平成30年4月	看護を知る 精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	(28) 平成28年4月 後任未定  (29) 平成29年1月 吉野淳一 A C 教員審査済 (後任の専任教員として補充)
兼任	講師	カハタ ミヨシ 坂田 三允	平成27年9月	精神看護学概論					変更なし	
教員の新規採用 (設置時の計画なし)					専	教授	ハシゲ チエミ 畑瀬 智恵美	平成27年4月	看護を知る 看護学概論 看護の基本技術論 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 診療過程の援助技術 フィジカルヘルス 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	平成26年9月 畑瀬智恵美 A C 教員審査済 基礎看護学領域の教員の充実のため、補充。

専	准教授	ハラヤ 原谷	タミ 珠美	平成26年4月	看護を知る 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	准教授	ハラヤ 原谷	タミ 珠美	平成26年4月	看護を知る 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ チーム医療 看護倫理 医療安全 看護管理	平成27年1月 原谷珠美AC教員審査済 下記の4科目を追加(当該科目の担当教員の充実のため) ・チーム医療 可 ・看護倫理 可 ・医療安全 可 ・看護管理 可  (28)平成28年3月 原谷珠美准教授退職
						専	教授	モリ 門間	マコ 正子	平成28年7月	成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ	(28)平成28年3月 門間正子変更書提出済 (平成28年3月に原谷珠美が退職したため、後任として申請)  (29)平成28年6月 門間正子AC教員審査済 ・成人看護援助論Ⅱ 可 ・成人看護援助論Ⅲ 可
						専					看護を知る 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ チーム医療 看護倫理 医療安全 看護管理	(28)平成28年4月 後任未定  (29)平成29年4月 後任未定 (原谷珠美の後任としての補充はしていないが、教員の新規採用等で補充している)
専	准教授	ササキ 佐々木	ユキコ 由紀子	平成26年4月	看護を知る 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学特論※ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究 看護研究演習 感染管理 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	准教授	ササキ 佐々木	ユキコ 由紀子	平成26年4月	看護を知る 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学特論※ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究 看護研究演習 感染管理 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ チーム医療 看護倫理 医療安全 看護管理	平成27年1月 佐々木由紀子AC教員審査済 下記の4科目を追加(当該科目の担当教員の充実のため) ・チーム医療 可 ・看護倫理 可 ・医療安全 可 ・看護管理 可
専	准教授	マツモト 松本	マユミ 真由美	平成26年4月	心理学 発達心理学 人間関係論 カウンセリング論 臨床心理							変更なし
専	准教授	イトウ 伊藤	リョウコ 良子	平成27年4月	看護を知る 小児看護援助論 小児看護学実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	准教授	クサキ 草薙	ミチ 美穂	平成28年4月	看護を知る 小児看護援助論 小児看護学実習 統合実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	平成27年4月 伊藤良子准教授就任辞退(病 気療養のため) 平成27年度中変更書提出予定  (28)平成27年12月 草薙美穂准教授教員審査済
専	准教授	モリグチ 森口	マイ 真衣	平成26年4月	倫理学 生命倫理 宗教と思想 看護研究演習							変更なし
専	准教授	ヤマダ 山田	アツシ 敦士	平成26年4月	日本語表現 中国語							変更なし



専	准教授	コジマ イツコ 小島 悦子	平成26年4月	看護を知る 看護学概論 援助的人間関係論 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	准教授	コジマ イツコ 小島 悦子	平成26年4月	看護を知る 看護学概論 援助的人間関係論 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ 看護の基本技術論 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ 診療過程の援助技術 フィジカルアセスメント	平成27年3月変更書提出済 下記の6科目を追加（当該科目の担当教員の充実のため） ・看護の基本技術論 ・生活援助技術Ⅰ ・生活援助技術Ⅱ ・生活援助技術Ⅲ ・診療過程の援助技術 ・フィジカルアセスメント  (28) 平成27年6月 小島悦子AC教員審査済 担当科目の追加 ・看護の基本技術論 可 ・生活援助技術Ⅰ 可 ・生活援助技術Ⅱ 可 ・生活援助技術Ⅲ 可 ・診療過程の援助技術 可 ・フィジカルアセスメント 可  (29) 平成29年3月 小島悦子准教授 退職
					専				看護を知る 看護学概論 援助的人間関係論 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ 看護の基本技術論 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ 診療過程の援助技術 フィジカルアセスメント	(29) 平成29年4月 後任未定 (小島悦子の後任としての補充はしていないが、教員の新規採用等で補充している)
専	准教授	本間 裕子	平成26年4月	看護を知る 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	講師	高儀 郁美	平成27年4月	看護を知る 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ 看護研究	平成26年3月 本間裕子准教授就任辞退（教員審査の結果2科目が不適合と判定されたため）  平成27年1月 高儀郁美講師AC教員審査済  (28) 平成28年3月 高儀郁美変更書提出済 担当科目追加のため ・看護研究  (29) 平成28年6月 高儀郁美AC教員審査済 ・看護研究 可
教員の新規採用 (設置時の計画なし)				専	准教授	浅井 さおり	平成29年7月	看護を知る 老年看護学概論 老年看護援助論Ⅰ 老年看護援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	(29) 平成29年3月 浅井さおり変更書提出済 (老年看護学領域の専任教員充実のため)	
専	講師	伊藤 廣美	平成26年4月	看護を知る 精神看護援助論 精神看護学実習 統合実習 看護研究 看護研究演習 医療情報 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	講師	伊藤 廣美	平成26年4月	看護を知る 精神看護援助論 精神看護学実習 統合実習 看護研究 看護研究演習 医療情報 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ チーム医療 看護倫理 医療安全 看護管理	(28) 平成27年12月 伊藤廣美AC教員審査済 ・老年看護学実習Ⅰ 可 ・老年看護学実習Ⅱ 可 ・チーム医療 可 ・看護倫理 可 ・医療安全 可 ・看護管理 可 (平成28年4月就任予定の松田ひとみが辞退したため、老年看護学実習Ⅰ、老年看護学実習Ⅱの2科目については後任として。チーム医療、看護倫理、医療安全、看護管理の4科目については、教員数の充実のため)  (29.5報告書から追加分)

専	講師	スギキ ヲシ 鈴木 康世	平成26年4月	<p>看護を知る チーム医療 看護倫理 看護の基本技術論 診療過程の援助技術 フィジカルアセスメント 医療安全 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護管理 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ</p>	専	助教	カガ マコ 高田 麻依子	平成27年4月	<p>看護を知る チーム医療 看護倫理 看護の基本技術論 診療過程の援助技術 フィジカルアセスメント 医療安全 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護管理 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ</p>	<p>平成26年3月 鈴木康世講師就任辞退（病氣療養のため） 平成27年1月 高田麻依子 A C 教員審査済 (28) 平成28年3月 高田麻依子助教退職 (28) 平成28年3月 並川聖子変更書提出済</p>
					専	准教授	ナカワ サトコ 並川 聖子	平成28年7月	<p>看護を知る 看護学概論 看護の基本技術論 診療過程の援助技術 フィジカルアセスメント 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 援助的人間関係論 看護研究 統合実習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ 看護研究演習 臨床看護技術演習</p>	<p>(28) 平成28年3月 高田麻依子の後任として、教員追加担当 並川聖子(准教授) H28. 03変更書提出済 (29) 平成28年6月 並川聖子 A C 教員審査済 ・看護を知る 可 ・看護学概論 可 ・看護の基本技術論 可 ・診療過程の援助技術 可 ・フィジカルアセスメント 可 ・生活援助技術Ⅰ 可 ・生活援助技術Ⅱ 可 ・生活援助技術Ⅲ 可 ・基礎看護学実習Ⅰ 可 ・基礎看護学実習Ⅱ 可 ・生活援助技術Ⅲ 可 ・看護研究 可 ・援助的人間関係論 可 ・看護研究 可 ・統合実習 可 ・看護ゼミナールⅠ 可 ・看護ゼミナールⅡ 可 ・看護ゼミナールⅢ 可 ・看護ゼミナールⅣ 可 ・看護研究演習 可 ・臨床看護技術演習 可</p>
					専				<p>チーム医療 看護倫理 医療安全 看護管理</p>	<p>(28) 平成28年4月 後任未定 (29) 平成29年4月 後任未定 (高田麻依子の後任としての補充はしていないが、設置計画時より多い人数の専任教員を配置済（佐々木由紀子、伊藤廣美）</p>
専	講師	フシナガ スガコ 藤長 すが子	平成26年4月	<p>看護を知る 看護の基本技術論 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ フィジカルアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ</p>	専	講師	フシナガ スガコ 藤長 すが子	平成26年4月	<p>看護を知る 看護の基本技術論 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ フィジカルアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ 援助的人間関係論</p>	<p>(29) 平成29年1月 藤長すが子 A C 教員審査済 ・援助的人間関係論 (担当教員の充実のため)</p>
専	講師	シゲノ カズエ 滋野 和恵	平成26年4月	<p>看護を知る 精神看護学実習 統合実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ</p>	専	講師	シゲノ カズエ 滋野 和恵	平成26年4月	<p>看護を知る 精神看護学実習 統合実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ 精神看護援助論</p>	<p>(28) 平成27年12月 滋野和恵 A C 教員審査済 ・精神看護援助論 可 (平成28年4月就任予定の坂田三九教授が辞退したため、後任として)</p>
専	講師	フクシマ マリ 福島 眞里	平成26年4月	<p>看護を知る 母性看護援助論 母性看護学実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ</p>	専	講師	フクシマ マリ 福島 眞里	平成26年4月	<p>看護を知る 母性看護援助論 母性看護学実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ 統合実習</p>	<p>(28) 平成28年3月 福島眞里変更書提出済 担当科目追加のため ・統合実習 (29) 平成28年6月 福島眞里 A C 教員審査済 ・統合実習 可</p>

専	講師	材村 郁子 大村 郁子	平成28年4月	看護を知る 母性看護援助論 母性看護学実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
専	助教	サイトウ 恭子 斉藤 恭子	平成26年4月	看護を知る 援助的人間関係論 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ 診療過程の援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	助教	ハギタ マミ 萩田 真美	平成26年9月	看護を知る 援助的人間関係論 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ 診療過程の援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	平成26年3月 斉藤恭子助教就任辞退（病氣療養のため） 平成26年7月 萩田真美AC教員審査済 看護研究演習の科目については、補充不要の判定だったため教員の補充なし。  (29)平成29年3月 萩田真美助教 退職
					専	助教	ミノ 陽介 美濃 陽介	平成29年7月	看護を知る 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ 診療過程の援助技術 フジノ 加7 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	(29)平成29年3月 美濃陽介変更書提出済 (萩田真美助教の後任として申請)
					専				援助的人間関係論	(29)平成29年4月 後任未定 (萩田真美の後任としての補充はしていないが、28年度に1人追加で補充済である(藤長すが子))
専	助教	サイトウ リカ 斉藤 リカ	平成26年4月	看護を知る 老年看護学実習Ⅱ 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	助教	サイトウ リカ 斉藤 リカ	平成26年4月	看護を知る 老年看護学実習Ⅱ 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ 老年看護援助論Ⅰ 老年看護援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 統合実習	(28)平成28年3月 斉藤リカ変更書提出済 (平成28年3月に松田ひとみが就任辞退したため、老年看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱ、老年看護学実習Ⅰの3科目については後任として申請、統合実習については、教員数の充実のため申請)  (29)平成29年6月 斉藤リカAC教員審査済 ・老年看護援助論Ⅰ 可 ・老年看護援助論Ⅱ 可 ・老年看護学実習Ⅰ 可 ・統合実習 可
兼任	講師	フザキ 清隆 房 崎	平成26年4月	哲学 論理学						変更なし
兼任	講師	イイ 由恵 今井 由恵	平成27年4月	音楽						変更なし
兼任	講師	ヨシムラ 貞子 良 村 貞子	平成27年4月	法学 関係法規	兼任	講師	サイカ 千之 坂井 千之	平成29年4月	法学	(29)平成29年4月 法学の兼任講師を良村貞子から坂井千之に変更した。
					兼任	講師	ハタ 俊彦 旗手 俊彦	平成29年4月	関係法規	(29)平成29年4月 関係法規の兼任講師を良村貞子から旗手俊彦に変更した。
兼任	講師	スズキ 敏正 鈴木 敏正	平成27年4月	教育学						変更なし
兼任	講師	クリト 瑞恵 栗本 瑞恵	平成26年4月	北海道史	兼任	講師	ヨシマ 横島 横島 公司	平成29年4月	北海道史	(29)平成29年4月 北海道史の兼任講師を栗本瑞恵から横島公司に変更した。

兼任	講師	ミヤコ 宮 森 芳 子	平成26年4月	生活科学						変更なし
兼任	講師	アイチ 相 内 泰 三	平成26年4月	自然科学						変更なし
兼任	講師	モリヤ 森 谷 繁	平成26年4月	環境科学	兼任	講師	フジイ 藤井 博 匡	平成29年4月	環境科学	(29) 平成29年4月 環境科学の兼任講師を森谷繁 から藤井博匡に変更した。
兼任	講師	ゴトケ 後 藤 ゆ り	平成26年4月	生活と運動 健康とスポーツ						変更なし
兼任	講師	ウエムラ 上 村 真 代	平成26年4月	英語 I						変更なし
兼任	講師	ゼフ・ブルックリン	平成26年4月	英語 II						変更なし
兼任	講師	アカマ 赤 間 荘 太	平成27年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	アカマ 赤 間 荘 太	平成27年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	氏名の間違い
兼任	講師	キム 金 昌 震	平成27年4月	韓国語						変更なし
兼任	講師	フジイ 藤 井 暢 弘	平成26年4月	臨床微生物学 感染症概論						変更なし
兼任	講師	カハラ 中 村 亨	平成28年4月	臨床薬理学						変更なし
兼任	講師	ススキ 鈴 木 純 子	平成28年4月	臨床栄養学						変更なし
兼任	講師	マツハラ 松 原 泉	平成27年4月	治療法概論						変更なし
兼任	講師	ハマジマ 浜 島 泉	平成27年4月	疾病論Ⅲ	兼任	講師	ニノ 丹羽 潤	平成29年4月	疾病論Ⅲ	(29) 平成29年4月 疾病論Ⅲの兼任講師を浜島泉 から丹羽潤に変更した。
兼任	講師	オオ 太 田 誠	平成28年4月	リハビリテーション概論						変更なし

兼任	講師	菅原 啓	平成27年9月	高齢者の健康障害	兼任	講師	武越 靖朗	平成27年9月	高齢者の健康障害	平成27年4月 菅原啓就任辞退（一身上の都合のため） 平成27年9月 左記の兼任講師就任予定
					兼任	講師	本間 俊	平成27年9月	高齢者の健康障害	平成27年4月 菅原啓就任辞退（一身上の都合のため） 平成27年9月 左記の兼任講師就任済
兼任	講師	山本 哲三	平成28年4月	女性の健康障害						変更なし
兼任	講師	大宮司 信	平成27年4月	精神の健康障害						変更なし
兼任	講師	太田 晴美	平成29年4月	災害看護						変更なし
兼任	講師	荻野 薫子	平成29年4月	現代の看護と課題	兼任	講師	原谷 珠美	平成29年4月	現代の看護と課題	(29) 平成29年4月 現代の看護と課題の兼任講師を荻野薫子から原谷珠美に変更した。
兼任	講師	薄井 明	平成26年4月	社会学						変更なし
兼任	講師	前田 博子 (79)	平成26年9月	コミュニケーション論	兼任	講師	神谷 奈保子	平成26年9月	コミュニケーション論	平成26年8月 前田博子就任辞退（一身上の都合のため） 平成26年9月 左記の兼任講師を補充
兼任	講師	大内 高雄	平成26年4月	ボランティア活動 社会福祉論	兼任	講師	大内 高雄	平成26年4月	ボランティア活動 社会福祉論	氏名の間違い
専	専任 補充			成人看護学特論※ 成人看護学実習Ⅰ			(高儀郁美)			平成27年1月教員審査済

- (注) ・ 申請書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。  
・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
10人	8人	6人	2人	26人	10人	6人	7人	1人	24人	10人	7人	7人	2人	26人
(7人)	(7人)	(5人)	(2人)	(21人)						[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	6 名	6 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	高波 澄子	必修	看護を知る	①	[Redacted]
			必修	保健医療福祉行政論	②	
			必修	在宅看護概論	②	
			必修	在宅看護援助論Ⅰ	①	
			必修	在宅看護援助論Ⅱ	①	
			必修	在宅看護論実習	①	
			必修	看護研究	①	
			必修	看護研究演習	①	
			必修	臨床看護技術演習	①	
			必修	看護ゼミナールⅠ	①	
			必修	看護ゼミナールⅡ	①	
			必修	看護ゼミナールⅢ	①	
必修	看護ゼミナールⅣ	①				
2	准教授	本間 裕子	必修	看護を知る	①	[Redacted]
			必修	成人看護援助論Ⅰ	①	
			必修	成人看護学実習Ⅰ	①	
			必修	成人看護学実習Ⅱ	①	
			必修	統合実習	①	
			必修	看護研究演習	①	
			必修	臨床看護技術演習	①	
			必修	看護ゼミナールⅠ	①	
			必修	看護ゼミナールⅡ	①	
			必修	看護ゼミナールⅢ	①	
必修	看護ゼミナールⅣ	①				
3	講師	鈴木 康世	必修	看護を知る	①	[Redacted]
			必修	チーム医療	①	
			必修	看護倫理	①	
			必修	看護の基本技術論	①	
			必修	診療過程の援助技術	①	
			必修	フィジカルアセスメント	①	
			必修	医療安全	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
			必修	統合実習	①	
			選択	看護管理	①	
			必修	臨床看護技術演習	①	
			必修	看護ゼミナールⅠ	①	
			必修	看護ゼミナールⅡ	①	
			必修	看護ゼミナールⅢ	①	
必修	看護ゼミナールⅣ	①				
4	助教	斉藤 恭子	必修	看護を知る	①	[Redacted]
			必修	援助的人間関係論	①	
			必修	生活援助技術Ⅰ	①	
			必修	生活援助技術Ⅱ	①	
			必修	生活援助技術Ⅲ	①	
			必修	診療過程の援助技術	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
			必修	統合実習	①	
			必修	看護研究演習	①	
			必修	臨床看護技術演習	①	
			必修	看護ゼミナールⅠ	①	
			必修	看護ゼミナールⅡ	①	
			必修	看護ゼミナールⅢ	①	
必修	看護ゼミナールⅣ	①				

5	教授	大久保 岩男	必修	生命科学	①								
			必修	病態病理学	①								
			必修	疾病論Ⅰ	①								
			必修	疾病論Ⅱ	①								
			必修	疾病論Ⅳ	①								
			必修	小児の健康障害	①								
			必修	看護研究演習	③								
			必修	看護ゼミナールⅠ	③								
			必修	看護ゼミナールⅡ	③								
			必修	看護ゼミナールⅢ	③								
6	准教授	伊藤 良子	必修	看護を知る	①								
			必修	小児看護援助論	①								
			必修	小児看護学実習	①								
			必修	看護研究演習	①								
			必修	臨床看護技術演習	①								
			必修	看護ゼミナールⅠ	①								
			必修	看護ゼミナールⅡ	①								
			必修	看護ゼミナールⅢ	①								
7	教授	松田 ひとみ	必修	看護を知る	①								
			必修	老年看護学概論	①								
			必修	老年看護援助論Ⅰ	①								
			必修	老年看護援助論Ⅱ	①								
			必修	老年看護学実習Ⅰ	①								
			必修	老年看護学実習Ⅱ	①								
			必修	看護研究演習	①								
			必修	臨床看護技術演習	①								
			必修	看護ゼミナールⅠ	①								
			必修	看護ゼミナールⅡ	①								
			必修	看護ゼミナールⅢ	①								
			必修	看護ゼミナールⅣ	①								
8	教授	坂田 三允	必修	看護を知る	①								
			必修	精神看護学概論	①								
			必修	精神看護援助論	①								
			必修	精神看護学実習	①								
			必修	看護研究	①								
			必修	看護研究演習	①								
			必修	臨床看護技術演習	①								
			必修	看護ゼミナールⅠ	①								
			必修	看護ゼミナールⅡ	①								
			必修	看護ゼミナールⅢ	①								
合計 (A)			後任補充状況の集計 (B)										
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)						
8	人	必修	97	科目	必修	90	科目	必修	2	科目	必修	5	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	98	科目	計	91	科目	計	2	科目	計	5	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退 (未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退 (未就任) の理由」に就任辞退の理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |                                 |
|---------------------------------|
| ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」       |
| ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」     |
| ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |



(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	原谷 珠美	必修	看護を知る	③	[Redacted]
			必修	成人看護援助論Ⅱ	①	
			必修	成人看護援助論Ⅲ	①	
			必修	成人看護学実習Ⅰ	③	
			必修	成人看護学実習Ⅱ	③	
			必修	統合実習	③	
			必修	看護研究演習	③	
			必修	臨床看護技術演習	③	
			必修	看護ゼミナールⅠ	③	
			必修	看護ゼミナールⅡ	③	
			必修	看護ゼミナールⅢ	③	
			必修	看護ゼミナールⅣ	③	
			必修	チーム医療	③	
			必修	看護倫理	③	
			必修	医療安全	③	
2	助教	高田 麻依子	必修	看護を知る	①	[Redacted]
			必修	チーム医療	③	
			必修	看護倫理	③	
			必修	看護の基本技術論	①	
			必修	診療過程の援助技術	①	
			必修	フィジカルアセスメント	①	
			必修	医療安全	③	
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
			必修	統合実習	①	
			選択	看護管理	③	
			必修	臨床看護技術演習	①	
			必修	看護ゼミナールⅠ	①	
			必修	看護ゼミナールⅡ	①	
			必修	看護ゼミナールⅢ	①	
必修	看護ゼミナールⅣ	①				
3	准教授	小島 悦子	必修	看護を知る	③	[Redacted]
			必修	看護学概論	③	
			必修	援助的人間関係論	③	
			必修	生活援助技術Ⅰ	③	
			必修	生活援助技術Ⅱ	③	
			必修	生活援助技術Ⅲ	③	
			必修	看護の基本技術論	③	
			必修	診療過程の援助技術	③	
			必修	フィジカルアセスメント	③	
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	③	
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	③	
			必修	統合実習	③	
			必修	看護研究演習	③	
			必修	臨床看護技術演習	③	
			必修	看護ゼミナールⅠ	③	
必修	看護ゼミナールⅡ	③				
必修	看護ゼミナールⅢ	③				
必修	看護ゼミナールⅣ	③				

4	助教	萩田 真美	必修	看護を知る	①								
			必修	援助的人間関係論	③								
			必修	生活援助技術Ⅰ	①								
			必修	生活援助技術Ⅱ	①								
			必修	生活援助技術Ⅲ	①								
			必修	診療過程の援助技術	①								
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①								
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①								
			必修	統合実習	①								
			必修	臨床看護技術演習	①								
			必修	看護ゼミナールⅠ	①								
			必修	看護ゼミナールⅡ	①								
			必修	看護ゼミナールⅢ	①								
			必修	看護ゼミナールⅣ	①								
合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
4	人	必修	62	科目	必修	27	科目	必修	0	科目	必修	35	科目
		選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	64	科目	計	27	科目	計	0	科目	計	37	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)										
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
12	人	必修	159	科目	必修	117	科目	必修	2	科目	必修	40	科目
		選択	3	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	162	科目	計	118	科目	計	2	科目	計	42	科目

- (注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・ 交代については、やむを得ないと判断し事前相談を行った。
- ・ 学生には担当教員が変更になった旨、周知徹底した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項 について の実施計画																																															
設 置 時 (26年4月)	<p>・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	留意事項	<p>(26)設置計画を確実に履行し、四年制大学にふさわしい教育研究活動を行い、質的充実に努める。</p> <p>(27)引き続き設置計画の履行に努める。</p> <p>(28)引き続き設置計画を確実に履行し、4年制大学にふさわしい教育活動を行い、水準の向上に努める。</p> <p>(29)完成年度を迎え、4年制大学にふさわしい教育活動を行い、水準の向上に努めるとともに、国家試験対策についても質的充実に努めた。</p>																																															
	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実行すること</p>	留意事項	<p>(26)教員組織編成の将来構想について、変更になる教員（4人）について若手を採用するように工夫した。</p> <p>(27)26年度の教員審査において若手の教員を採用した。</p> <p>(28)定年年齢（65歳）を超えて採用した専任教員及び採用後4年以内に定年年齢を迎える専任教員については、採用後4年間は雇用継続し、それ以降は退職又は特任教授等の適用により、適切な運用を図っていく。教員任用にあたっては、職位・年齢等のバランス及び教育研究分野等を考慮し、教員任用規程に基づいて計画的に進める。</p> <p>(29)現在の専任教員の職位と年齢構成は次のとおり。（職位はH29.5.1現在、年齢はH30.3.31現在）</p> <table border="1" data-bbox="774 1350 1268 1736"> <thead> <tr> <th></th> <th>教授</th> <th>准教授</th> <th>講師</th> <th>助教</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30～39</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>40～49</td> <td></td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>50～59</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>5</td> <td></td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>60～64</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>65～69</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>70以上</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※H29.5.1教員審査申請中の者を含む、傳野学長及び島本総長を除く。)</p>			教授	准教授	講師	助教	計	30～39						40～49		2	1	2	5	50～59	2	4	5		11	60～64	2	1			3	65～69	1		1		2	70以上	3				3	計	8	7	7
	教授	准教授	講師	助教	計																																													
30～39																																																		
40～49		2	1	2	5																																													
50～59	2	4	5		11																																													
60～64	2	1			3																																													
65～69	1		1		2																																													
70以上	3				3																																													
計	8	7	7	2	24																																													

			<p>教員組織編制の将来構想は、教員任用規程に基づき学内の講師の専任教員を准教授に昇任するほか、退職する教授の後任は、年齢構成を考慮し定年前の教授職を公募により採用する。後任の教員の採用に当たっては、教育・研究に支障の無いよう採用時期に配慮する。また今後も、FDを強化し教員の育成、特に若年の助教、講師の育成に努める。</p>
設置時 (26年4月)	<p>・教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた2授業科目については、確実に専任教員を配置すること</p>	留意事項	<p>(26) 上記を踏まえて、26年6月に教員審査を申請する。</p> <p>(27) 26年度中に当該科目については教員審査済である。</p> <p>(28) 当該科目については、既に教員審査済である。</p> <p>(29) 当該科目については、既に教員審査済である。</p>
	<p>・学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元に取り組むこと。</p>	留意事項	<p>(26) 26年度予算から割合をあげるべく努力する。(学生中心の大学づくりを進める)</p> <p>(27) 引き続き学生中心の大学づくりに努める。</p> <p>(28) 講義室の視聴覚設備、スクールバス、学食メニューの充実など学生への還元を行った。</p> <p>(29) 完成年度を迎え、学生の就職活動支援のためにキャリア学修支援センターを設置した。 また、引き続きスクールバス、学食、自動販売機等の充実を図った。</p>
設置計画履行状況 調査時 (27年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調査時 (28年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調査時 (29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <保健医療学部 看護学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 入学者選抜方法の変更 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般入学試験</li> <li>・ 推薦入学試験</li> </ul>	① 平成30年度入学試験（平成30年4月入学生）から、 大学入試センター試験利用入学試験を実施予定

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 <ul style="list-style-type: none"> <li>a 委員会の設置状況               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FD委員会 看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科の3学科で実施</li> </ul> </li> <li>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回FD委員会 平成28年 4月27日（教員8人、事務職員1人）</li> <li>・ 第2回FD委員会 平成28年 6月 8日（教員8人、事務職員1人）</li> <li>・ 第3回FD委員会 平成29年 1月10日（教員8人、事務職員1人）</li> <li>・ 第4回FD委員会 平成29年 1月25日（教員8人、事務職員1人）</li> </ul> </li> <li>c 委員会の審議事項等               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FD委員会の今年度の活動計画について</li> <li>・ 授業評価アンケートについて</li> <li>・ FD研修会について</li> <li>・ 次年度の活動と予算（案）</li> </ul> </li> </ul>
② 実施状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>a 実施内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学生による授業評価アンケートの改訂                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診療放射線学科開設に伴い、これまで看護学科・リハ学科で作成した授業評価アンケート（講義・演習用）と（実習用）の様式の見直しを行なった。</li> </ul> </li> <li>② 学生による授業評価アンケートおよびフィードバックの実施                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業評価に関しては、各科目の講義の最終回に実施した。実施方法は科目担当教員がアンケート用紙を配付し、学生が記入後、事務職員が回収にあたるか、または学生がボックスに投函した。集計結果は、各科目担当者に項目ごとの平均値・全平均値・自由記述部分を返却し、あわせて、全科目集計表を添付し、授業改善の参考としてもらうようはたらきかけた。また、全科目集計表・必修—選択科目集計表・基礎教育—専門基礎教育—専門教育科目等、グループごとの集計表とそのグラフを真栄キャンパス・恵み野キャンパス、それぞれに掲示し、学生が授業評価アンケートの結果を閲覧できるようにした。</li> <li>各科目担当教員に授業評価アンケートの集計および自由記述結果を返却し、より良い授業構築へとつながった。次年度より、各教員からはその内容を受け今後の教育にどう反映させるかを書面（電子データ）で提出してもらうことが話し合われた。さらに、提出されたものは学生にも公開し、各教員、学生間の双方の意見交流の機会とし、より良い授業構築へとつなげることが決定された。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

③ 教育課程の検討

・看護学科は2年間授業を行なった中で変更や追加が望ましい部分等を加味し、2018年度以降の新カリキュラム再編へ話し合いが行われた。FD委員会ではカリキュラム検討会の推移を見守った。

④ 教員研修会の実施、授業方法の開発

教員研修会に関しては、平成28年度は各教員の研究活動に関わる企画を据えた。研究活動はFD委員会の主目的である教育課程・体制の開発向上や教育方法の向上とも間接的につながるものであり、研究の充実は学生に提供する講義内容、教育方法の向上とも連動することから、シリーズ1として、研究倫理に関する学習会、シリーズ2としてアクティブ・ラーニングに関する学習会を実施した。

研究倫理については、ここ近年、研究者に倫理意識の向上が求められており、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」が出され、大学教員に対し研究倫理に関する講義の受講が義務付けられていることから、研究倫理委員会との合同企画としてシリーズ1を実施した。

・シリーズ1：平成28年8月31日（水）

第1部 研究倫理教育 13：30～15：00

札幌医科大学 医学部知的財産管理学 石埜正穂教授

「責任ある研究活動への取り組み」-研究活動における不正行為について-

第2部 コンプライアンス教育 15：10～16：10

本学リハビリテーション学科学科長 乾 公美教授

-本学における競争的資金等の適正な執行について-

・シリーズ2：平成28年9月6日（水）14：00～16：00

北海道大学高等教育推進機構 高等教育研修センター

山本 堅一 特任准教授

「アクティブ・ラーニングについて」

参加者は公務で不在の教員を除き、2回とも全教員の参加があった。研修内容、時期、場所、所要時間について参加者にアンケートを実施した結果、有意義な研修であったという意見が多かった。

b 実施方法

・上記の実施内容に沿って適切に実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・2回の教員研修会はいずれも公務で外勤した教員以外、全員の参加があった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・平成29年度（前期・後期）は、専任教員科目については学生へのフィードバックを実施することとした。

授業評価アンケート結果に対する科目責任者から学生へのフィードバック（100字から300字以内）について、統一のフォーマットにコメントを掲載し、学生ポータルサイトにPDFで掲載する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・学期毎に実施 前期7～8月 後期1～2月

b 教員や学生への公開状況、方法等

・学内掲示板で教員及び学生に公開を行っている。 前期分：9月 後期分：翌年度の4月

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科ともに人間尊重の理念と豊かな人間性を有する人間力を育て、社会のニーズに対応できる学問的に裏付けされた専門的知識・技術を学修させ、エビデンスに基づいた実践力を育成し、専門職業教育に求められる科学的思考力と主体的学修能力をもった人材を育成することを目的としている。

看護学科は平成28年度が開設3年目、リハビリテーション学科は開設2年目、診療放射線学科は開設1年目で、上記の目的を達成すべく活動してきており、平成27年度に立ち上げた自己点検評価委員会での自己点検・評価を実施し、目的達成に向けての問題点の把握、改善策の実施を進めていく方針である。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・日本医療大学年報第2号（平成28年度）を、自己点検・評価報告書に代えて平成29年度下期に公表予定。

##### b 公表方法

- ・本学ホームページに公表予定。

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成31年度に評価機関（日本高等教育評価機構）評価を受けるべく、準備中

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

(  有  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 29年 8月 )